



新聞まさひこ通信 曙

あけぼの

公明党福岡県議団 会報

発行責任者

福岡県議会議員

新開 昌彦

福岡市早良区曙2-1-35

Vol.57号

平成25年8月24日発行

代表質問

6月定例会は、6月7日から25日までの会期で開催されました。

代表質問では、公明党から壹岐和郎議員が質問を行いました。

中国の環境問題に対して県の積極的な関与を求め、公共工事設計労務単価の引き上げが現場の賃金や社会保険加入促進につながるよう、知事の具体的な行動を求めました。

6月定例会報告

自殺防止対策について、自殺未遂者支援モデルの拡大を求め、障害者の雇用については、障害者優先調達推進法の施行に伴い府内に連絡会議を立ち上げ、全庁で取り組むよう提案。

学校徴収金等の事務処理のチェック体制を見直し透明性の確保を追及。教員が子どもと向き合う時間確保のため超過勤務縮減を求めました。

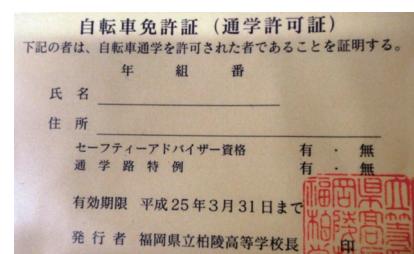
一般質問



自転車の免許制度、保険加入の促進

Q.自転車事故は、10代が全体の3割。その対策が急務。

A.免許制度の普及状況は、私立高校で8校、公立高校で5校が実施。今後4年内に更に11校が導入予定。中学校での免許制度についても積極的に検討する。自転車保険の加入状況は、私立高校で、21校が義務付けし、公立高校では、34校が義務付けている。



県立柏陵高等学校が実施している、自転車免許制度。

空洞調査が実施！



空洞探査車

私は、道路の陥没を未然に防ぐため空洞調査を2月議会で提案。特に昨年7月の豪雨被害があつた筑後地域の調査を求めていました。

空洞調査は、5月、南筑後県土整備事務所管内41路線約219kmを調査し、75箇所の異常信号を検出。うち、緊急対応箇所11箇所を発見。緊急に補修を実施しました。

今回の調査で道路の陥没を未然に防ぐことができました。この結果、空洞調査は、今後も実施される予定です。

